

国宝・深大寺白鳳仏
銅像釈迦如来像



The Statue of Hakuho Buddha
a National Treasure



左から 鶴林寺聖観音・深大寺釈迦如来倚像・新薬師寺香薬師

深大寺白鳳仏・国宝指定記念
白鳳仏三体展示

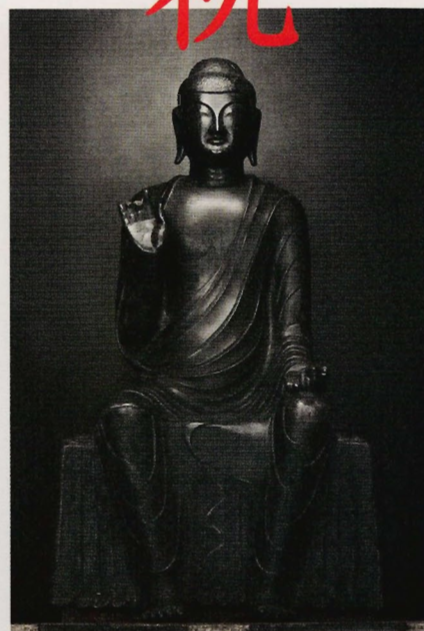
ふっくらとした頬の輪郭や鼻梁から眉尻にいたる涼やかで伸びやかな若々しい表情が特長の白鳳仏。その代表でもある奈良新薬師寺薬師如来立像（香薬師）と兵庫県鶴林寺聖観音立像のお身代わり像ではありますが、三体並ばれた姿で来年3月まで釈迦堂に展示されています。このようなシーンはなかなか見られません。国宝指定のお祝いに沸く歴史的なこの期間に是非、お参りされてください。

（白鳳仏三体展示：2018年3月まで）

祝

東日本最古の国宝仏『深大寺白鳳仏』 銅像釈迦如来像

2017年の春、深大寺にとっても調布市にとってもこの上なく慶ばしくもおめでたい歴史的な年となりました。これまで重要文化財であり日本を代表する関東最古の仏像として広く海外へも紹介されていた深大寺白鳳仏が国宝に指定されたのです。東日本の国宝仏としては他に、平安時代の会津勝常寺薬師如来坐像、東京大倉集古館普賢菩薩、平泉平泉中尊寺金色堂、鎌倉時代の鎌倉大仏があり、まさしく関東最古でなく「東日本最古の国宝仏」の誕生です。



厳かに華やかに!・・・国宝・深大寺白鳳仏「慶讃法会」「奉迎式」

東日本最古の国宝仏となってお還りになる深大寺白鳳仏「銅像釈迦如来像」を市を挙げてお迎えするお祝いの式典が、5月の青葉若葉の風薫る中、盛大に荘厳に執り行われました。その高揚感ほまさに調布市に新しい時代の輝きを感じさせてくれるものでした。



■ **慶讃法会** 5月20日、奉迎式前日の午後のひととき、しょうみょう がく 声明と雅楽のコラボレーションによる「慶讃法会」の集いが、外国の大使も含めた200名の参加者と共に本堂内で開催されました。雅楽は仏教伝来と共に中国・朝鮮から伝わり、それが日本人の特性とも言える神仏習合の思想のもと、寺院・神社で演奏されて来たものです。笙・篳篥・龍笛・楽琵琶・和琴などによる本来の雅楽と仏教の緊密な結びつきが、ここに厳かに再現されました。ひちりき りゅうてき がくびわ わこん



■ **奉迎式** 翌21日には檀家さんはじめ周辺・境内を埋め尽くす大勢の市民や来賓のもと、僧侶をはじめ鮮やかな天平装束の檀家さんや稚児さんの長いお練り行列で白鳳仏のお身代わりをお迎えして本堂前に安置。雅楽や読経などによるお祝いの法要が続き、その後、文化庁代表、天台宗宗務総長、興福寺国宝館館長、調布市長などの祝辞を受けて、華やかにして厳かに且つ盛大に『奉迎式』がとり行われました。来賓祝辞を頂いた後、張堂住職は「昨年ローマでの日本仏像展に日本を代表する仏像として出陣した展示会場での白鳳仏の満面の微笑は、国宝になる予感を私に感じさせて余りある輝きでした」と、晴れやかにごあいさつされました。この日の奉迎式は国宝鎮座する釈迦堂での法要で終了となりました。